

学校評価

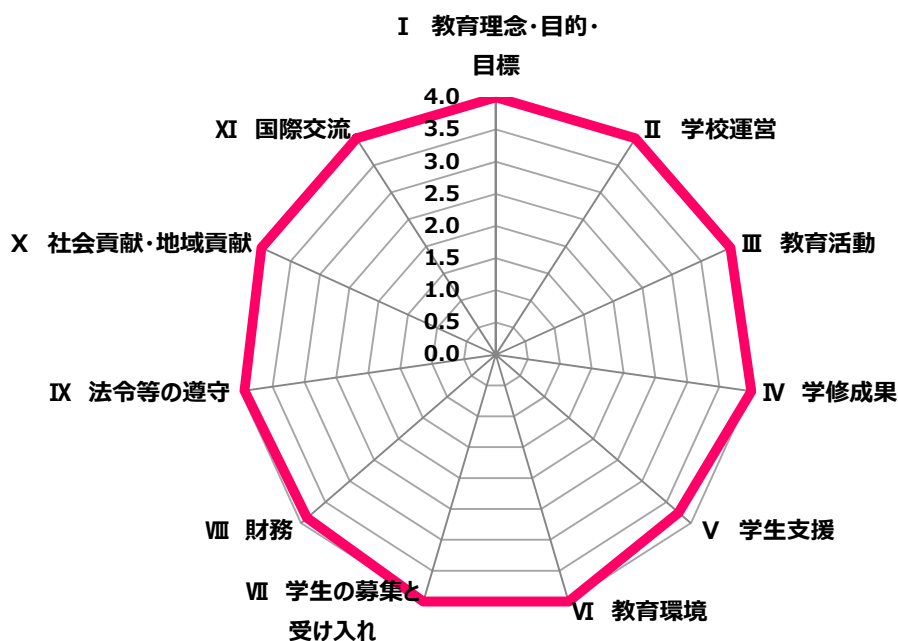
(1) 平成 28 年度 学校自己点検・自己評価

【赤十字看護専門学校における学校評価ガイドラインに基づいた評価より】

本校では、毎年赤十字の教育理念・教育目的に基づいた教育活動や学校運営についての目標を設定し、達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価し、教育の質の保証・向上につなげる努力をしています。

今年度の自己評価を行った結果は以下のようになりました。概ねどの項目についても積極的に取り組んでいると考えています。その中で「V. 学生支援」がわずかに低くなりました。これは「就職に向けてのインターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備している」という評価の観点があり、臨地実習の 8 割を母院である京都第二赤十字病院で実施し、約 8 割の学生が母院に就職している現状からインターンシップの制度を設けていないことや、海外研修を企画していないことが要因になったと考えています。進学や他院への就職を希望する学生は、学生の希望を尊重し、支援しています。

本校の強みの一つとして、慣れ親しんだ病院で看護師としてスタートでき、基礎教育と卒後教育の連動のもと、看護師としてのキャリアを形成していけることがあります。今後も実習以外でも母院の特徴や良さが伝えられるようにしていきたいと思います。



(4点満点)

(2) 平成 28 年度 学校関係者評価(保護者)

【保護者アンケート結果より】

保護者の方々に学校関係者評価へのご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます(アンケート回収率 62.4%)
お答えいただいた 10 項目は概ね高い評価をいただき、また温かいお言葉も多数頂戴し、学習内容を保障しつつ、
学生の個別性を理解し、その人にあった学習の支援に努めていることについてご理解がいただけたと思います。

しかしながら、以下については若干低い結果でした。

※「当てはまる」「やや当てはまる」合わせて 75%前後であり、「当てはまらない」「わからない」の割合は 25%前後

5. 単位認定の公平性
9. 教育学習活動に関する情報提供は適切に行われている
10. 国家試験や卒業後の進路に関して、適切な支援が行われている

これらの結果から教育活動内容や結果が保護者の皆様には十分伝わっていないことがわかりました。

今後はホームページや保護者会等で十分説明することが必要であると考えております。

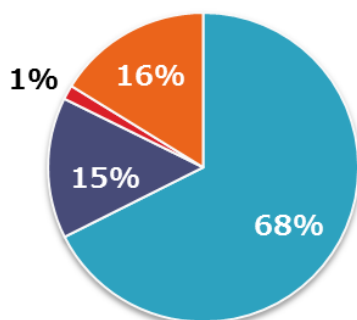
今後のご意見を頂戴しながらよりよい学校運営に努めて参りますのでよろしく願いいたします。

駐輪場についての要望は毎年のようにいただいておりますが、施設設備上難しく、保護者の皆様にはご理解ご協力を
平にお願いいたします。

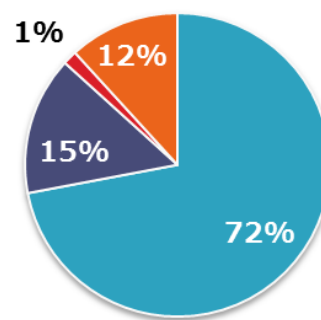
<アンケート結果>

■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ 当てはまらない ■ 分からない

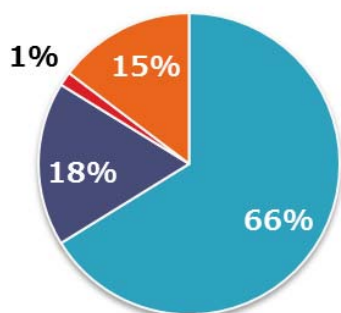
1. 教育理念、目標の理解



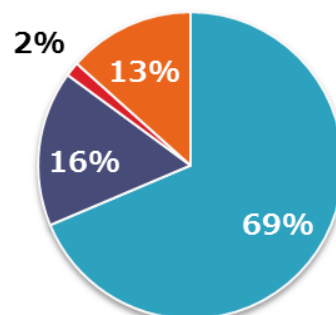
2. 学習の指針の明示



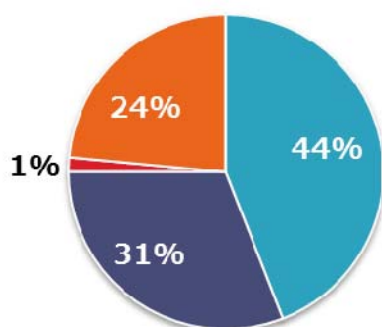
3. 赤十字NS養成の妥当性



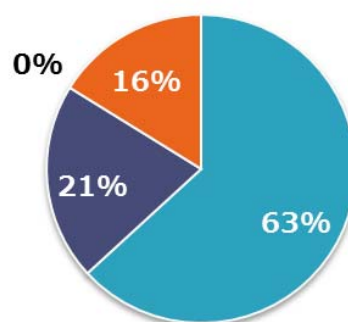
4. 単位認定基準の明示



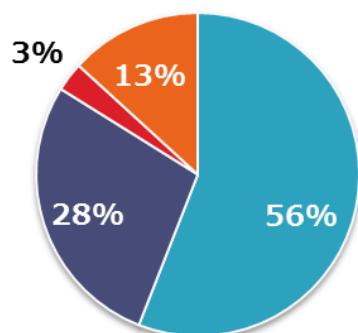
5. 単位認定の公平性



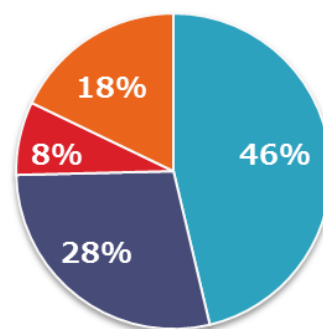
6. 臨地実習指導の支援体制



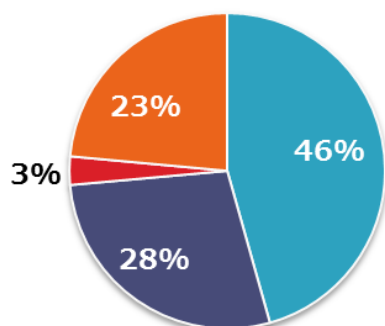
7. 学習の支援体制



8. 必要な施設設備の整備



9. 学習に関する情報提供



10. 国家試験、進路支援

